

廃対第326号
令和2年9月1日

(一社) 岐阜県産業環境保全協会
理事長 澤田 裕二 様

岐阜県知事

油断なく警戒継続／ストップ「コロナハラスメント」宣言の発出について（周知）

皆様のご理解とご協力により、新型コロナウイルス感染拡大も小康状態となったことから「非常事態」は越えたと判断し、県が発令していた「第2波非常事態宣言」はいったん解除します。しかし、3度目の感染拡大につながらないように、油断なく警戒を続ける呼びかけを行うため、別添の知事メッセージを発出しました。

また、感染者への誹謗・中傷を防ぐため、知事と42市町村長が連名で“ストップ「コロナハラスメント」宣言”を併せて発出しました。

については、上記趣旨をご理解の上、貴団体におかれましても、周知いただきますようお願いいたします。

所 属	岐阜県 環境生活部 廃棄物対策課
担 当	高 橋
T E L	058-272-8214
E-mail	c11225@pref.gifu.lg.jp

ストップ「コロナ・ハラスメント」宣言

1 「コロナ・ハラスメント」？

新型コロナは人類未知のウイルスであり、誰しも怖いものです。

この病気に対する恐怖心、誤解や偏見により、知らず知らず誰かを排除したり、差別をしていませんか？ 身近なところで以下のようなこと（コロナ・ハラスメント）が起こっていませんか？

- ・退院した感染者が、お店の方から「帰れ」と言われた。
- ・会社に復帰する際に「陰性証明を持ってこい」と言われた。
- ・感染者が、退院後にデイサービスを断られた。
- ・インターネットで感染者を名指しするような書き込みがあった。
- ・感染者の子どもが、学校でコロナのことでいじめられ、泣きながら帰ってきた。
- ・感染者が発生した地域で、嫌がらせのビラが配られた。
- ・飲食店が、感染者が発生したという噂により、風評被害にあった。
- ・医療従事者の子どもが、保育所で受け入れ拒否やいじめを受けた。
- ・感染が多発している県のナンバーの自動車に対し、嫌がらせのビラが貼られた。
- ・子どもが学校を休むと、同級生にコロナに感染したと言われた。
- ・感染者が出ている学校の学生が、アルバイト先から解雇された。

○ご相談・お問い合わせは、以下まで。

- ・岐阜県人権啓発センター(058-272-8252)
- ・お住いの市町村相談窓口

2 「思いやり」と「感謝」を

新型コロナは、誰でも感染する可能性があり、私たちが闘っている相手は、人ではなくウイルスです。

感染した方を「思いやり」、その立場を守ります。また、最前線で治療や社会生活維持にあたる医療従事者や関係者の方々に「感謝」します。

このように人との絆を大切に、この難局を乗り越えましょう。

- 患者、濃厚接触者、医療従事者、外国人の方々、他地域からの来訪者、そして、それらのご家族や特定の店舗などへの差別的扱い、非難を絶対になくしましょう。
- 不確かな感染情報（デマ）の拡散は許されることではありません。SNSに書き込むなど安易に広げることは、かえって人に不安を与えるだけです。
- 医療従事者をはじめ、新型コロナ対策に携わる関係者の方々、あるいは食品流通業務や、生活安全業務など、私たちの暮らしを支える方々に改めて感謝しましょう。



令和2年9月1日

岐阜県知事	古田 肇	瑞穂市長	森 和之	大野町長	宇佐美 晃三
岐阜市長	柴橋 正直	飛騨市長	都竹 淳也	池田町長	岡崎 初夫
大垣市長	小川 敏	本巣市長	藤原 勉	北方町長	中野 勉哉
高山市長	國島 芳明	郡上市長	日置 敏明	坂祝町長	桑山 隆也
多治見市長	古川 雅典	下呂市長	山内 登	富加町長	板津 徳次
関市長	尾関 健治	海津市長	松永 清志	川辺町長	佐藤 光宏
中津川市長	青山 節児	岐南町長	松原 秀安	七宗町長	井戸 敬二
美濃市長	武藤 鉄弘	笠松町長	古田 聖人	八百津町長	金子 政則
瑞浪市長	水野 光二	養老町長	大橋 孝	白川町長	横 象敏昭
羽島市長	松井 聡	垂井町長	早野 博文	東白川村長	今井 俊郎
恵那市長	小坂 喬峰	関ヶ原町長	西脇 康世	御嵩町長	渡邊 公夫
美濃加茂市長	伊藤 誠一	神戸町長	谷村 成基	白川村長	武原 春
土岐市長	加藤 淳司	輪之内町長	木村 隆之		
各務原市長	浅野 健司	安八町長	堀 正		
可児市長	富田 成輝	揖斐川町長	富田 和弘		
山県市長	林 宏優				

第2波を教訓に、油断なく警戒継続

県民の皆様のご理解とご協力により感染拡大も小康状態となり、「非常事態」は越えたと判断し「第2波非常事態宣言」はいったん解除します。

しかし、警戒を緩めるとたちまち3度目の感染拡大につながる可能性があります。引き続きひとりひとりの警戒を緩めないようにしましょう！

1 高感染リスクの場を回避

- ・ クラスターの多くは、閉め切った場所での大人数での酒類を伴う飲食、パーティー、カラオケ、クラブ利用などを契機に発生。

このような感染リスクの高い場や行動は引き続き回避し、慎重な行動を。とくに「飲食後もマスクをはずして会話を続ける」ことは危険です。

2 家族のことは家族で守る

- ・ 当初若者中心に始まった第2波も、家族内の感染を通じ徐々に中高年齢層へ拡大。重症の方も増えました。

今後も引き続き重症化のリスクの高い高齢者の方など大切な家族を守るために、若い世代の方々も感染リスクを避けましょう。

3 職場や学校などでの感染を防ぐ

- ・ 毎日自分で体調チェック。体調異常の場合は通学、通勤、外出をストップ。職場や学校では、体調不良の方を思いやり、安心して休める雰囲気作りも重要です。